Oneアプライアンス、Oneパッケージのトータルセキュリティ

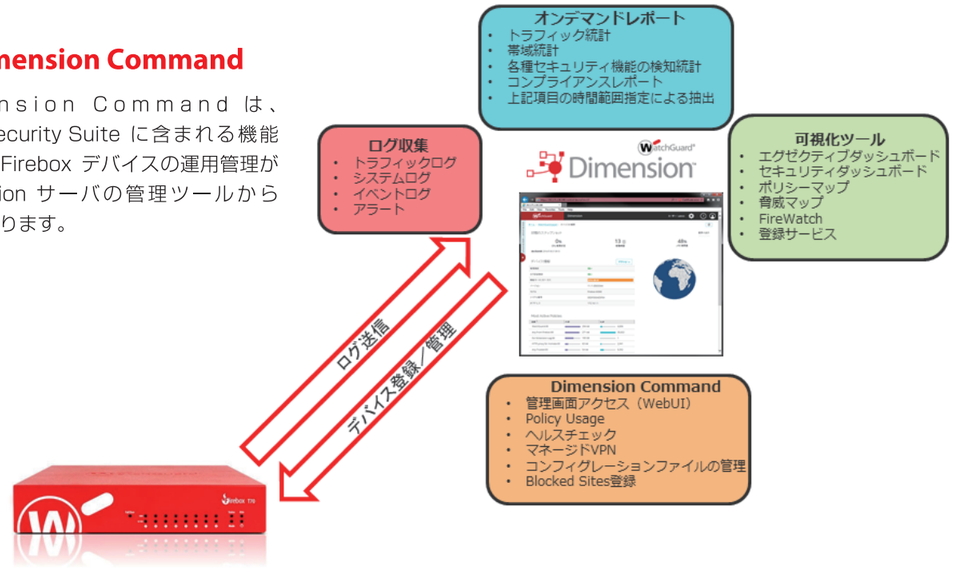
ウォッチガードのコンセプトは、製品設計からパッケージ化までのあらゆる段階で「シンプル」を追求しており、「Total Security Suite」と「Basic Security Suite」、「Support」の3タイプから選択可能です。

製品	Support	TOTAL SECURITY	Basic Security
ステートフルファイアウォール	✓	✓	✓
モバイルVPN	✓	✓	✓
ブランチオフィスVPN	✓	✓	✓
アプリケーションプロキシ	✓	✓	✓
不正侵入検知・防御（IPS）		✓	✓
アプリケーション利用の可視化と制御		✓	✓
Webフィルタリング		✓	✓
迷惑メール対策		✓	✓
ゲートウェイアンチウイルス		✓	✓
レピュテーションセキュリティ（RED）		✓	✓
Network Discovery		✓	✓
標的型攻撃対策（サンドボックス）		✓	
情報漏えい対策（DLP）		✓	
Dimension Command		✓	
相関分析、優先順位付け、レスポンス（TDR）		✓	
サポート	スタンダード（24x7）	ゴールド（24x7）	スタンダード（24x7）

※平日（9:00~18:00）以外は英語でのサポートとなります。
※Mobile Security機能の利用には、FireClientライセンスの購入が別途必要となります。

Dimension Command

Dimension Command は、Total Security Suite に含まれる機能として、Firebox デバイスの運用管理が Dimension サーバの管理ツールから可能となります。



ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9 BPR プレイス神谷町 5 階　Tel: 03-5797-7205
https://www.watchguard.co.jp　　jpnsales@watchguard.com

導入事例：TKC

ゲートウェイセキュリティを一新し、セキュリティ強化を実現した TKC



お客様	業種・業界	地域	ウォッチガード製品
株式会社TKC	情報サービス	日本	Firebox T70

ゼロデイ脅威対策をハイパフォーマンスな DPI(ディープパケットインスペクション) 機能とトータルセキュリティでカバー、ゲートウェイセキュリティを一新し、セキュリティ強化を実現した TKC 全国会

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

全国に11,200名超の税理士、公認会計士を擁するTKC全国会と株式会社TKCは、進化し続けるサイバー攻撃や暗号化通信のセキュリティ対策の必要性により、DPI（Deep Packet Inspection）をハイパフォーマンスで実現するFireboxシリーズの展開を開始した。また、セキュリテイ可視化ツール“WatchGuard Dimension”による可視化やレポート機能で社内のネットワーク状況の可視化も改善し、会員間での安全なコミュニケーションインフラを実現しました。

全国に11,200名超の税理士、公認会計士を擁するTKC全国会とそれを支援する株式会社ＴＫＣは、以前までゲートウェイとエンドポイントによるセキュリティ対策を実施してきたが、進化し続けるゼロデイ攻撃や標的型攻撃の急増、そして近年高まってきている暗号化通信のセキュリティ対策の必要性により、セキュリティ対策の見直しを実施する事となりました。各エリア支店からは閉域網を通じてデータセンタにトラフィックを集約させ、インターネットアクセスの制御をしていました。データセンタには他社製UTMアプライアンスが導入されており、当初は既存のアプライアンスにてセキュリティ強化を図ることも検討しました。

多層防御はもとより、DPI（Deep Packet Inspection）を有効にして、暗号化通信に潜むサイバー攻撃のリスクを下げる必要がありました。また、ネットワークセキュリティ可視化ツール “WatchGuard Dimension” による可視化や様々なレポートに機能より、社内のネットワーク及びセキュリティ状況を可視化し、全国の会員とのより安全なネットワークセキュリティ対策を実現しました。

DPI(暗号化トラフィックのセキュリティ検査)におけるジレンマ

株式会社ＴＫＣでは会員事務所に安全なIT環境を提供するため、ゲートウェイセキュリティ、エンドポイントでのセキュリティ対策を運用していました。しかし、年々急増するゼロディの脅威や、暗号化通信に潜むセキュリティリスクに対しては未だ不十分な対策であると感じていました。当初、既設置の UTM アプライアンスでの機能拡張により DPI 機能の導入を検討しましたが、パフォーマンス的に現行機器にこれ以上の負荷がかけられない事や、アドオンで追加するライセンスも非常に高価だったことから、改めて最適なソリューションの導入のために複数のSIパートナやベンダから提案を受けることとなりました。

ここで、アプライアンス製品におけるコンテンツインスペクション(DPI)有効時のパフォーマンスが大きな評価基準となりました。コンテンツインスペクション機能はデータの復号化、そして再暗号化の処理が発生するのでどのくらいのパフォーマンス低下が発生するのかが大きな懸念となっていました。

PC50台前後の実際の運用環境にFirebox T70を評価導入したところ、暗号化（HTTPS）通信のインスペクションを稼働させた状態でも大幅な通信劣化は見られず、ストレスなくWebの閲覧ができました。大幅なパフォーマンス劣化が無かったことが導入のポイントになりました。（TKC 市川氏 ）

株式会社ＴＫＣのご紹介

TKCは、「わが国の会計事務所の職域防衛と運命打開」と「地方公共団体の行政効率向上による住民福祉の増進」という極めて明確な事業目的を掲げ、昭和41年（1966年）に創業いたしました。以来一貫して、会計事務所と地方公共団体の2つの分野に専門特化した情報サービスを展開し、日本の情報産業界に独自の地位を築いて参りました。
換言すれば、税法・会社法・民法・行政法など、法律と深く関わりながら社会的責務を全うする税理士、公認会計士および地方公務員の業務遂行を、情報テクノロジーを媒体にして支援し、広く日本の経済、地域社会の発展に寄与していくこと・・・これがTKCのアイデンティティです。





株式会社 TKC
左　栃木本社　システムエンジニアリングセンター
　　IT 投資企画部　部長　　金森　直樹 氏

右　栃木本社　システムエンジニアリングセンター
　　IT 投資企画部　IT 投資企画課　課長　市川　裕洋 氏

All In でのセキュリティライセンス（WatchGuard Total Security Suite）の魅力

多層防御を導入するうえで、サンドボックスなどの機能追加を検討する際に、新たに、追加ライセンスやハードウェアなどの全体の導入コストに関しても、一つのポイントとなりました。複数のUTMアプライアンスの提案を受けましたが、結論としてはWatchGuard Fireboxシリーズによる、Total Security Suiteライセンスを利用する事に決定しました。

Total Security Suiteには基本的なUTMセキュリティ機能に加え、クラウドサンドボックスを活用したAPT Blocker、エンドポイントPCを振る舞いベースに保護するTDRなどが含まれています。

ウォッチガードのベストオブブリードの高性能なセキュリティ機能が、低コストで利用でき、将来的に新しいゼロディ対策機能などが柔軟に追加できるセキュリティプラットフォームのコンセプトなどにメリットを感じました。（TKC 金森氏）

多彩なレポート機能やネットワークセキュリティの可視化によるメリット

WatchGuard Dimensionは多彩なセキュリティレポート機能を提供しています。各セキュリティ機能による検知数だけでなく、トラフィック解析ができる内容も含まれています。このDimensionはすべてのFireboxユーザに無償で提供される機能であり、秀逸な可視化ツールとして多くのユーザやサービスプロバイダに好評を得ている機能です。

特に気に入ったのがドリルダウン方式による解析手法です。トラフィック状況やセキュリティ検知状況など詳細を追うことができることに魅力を感じました。誰が、どれぐらいのトラフィック量を、どのカテゴリサイトへアクセスしたのか簡単に追うことができ、詳細を把握することができるので何かセキュリティ事件・事故が発生した場合やインターネットの利用状況の詳細を把握したい場合に非常に役立ちます。（TKC 市川氏）

複数のFireboxアプライアンスの一括統合管理

Fireboxは各エリア支店のゲートウェイ箇所に導入される予定です。各エリア支店にはネットワーク管理者やセキュリティのスペシャリストが不在のため、センターよりリモートにて集中管理できる仕組みが必要でした。WatchGuardではDimension Commandと呼ばれるFireboxの集中管理ツールが提供されており、Dimension CommandはTotal Security Suiteに含まれるライセンスです。

複数のFireboxデバイスを集中管理できるツールが提供されていること、そして安価に実現できるのがWatchGuard社製のみでした。（TKC 金森氏）

安心のサポート体制

WatchGuard Fireboxの機能や価格だけに魅力を感じたのではなく、提案段階から関わってくれていた日信ITフィールドサービス様の体制や技術スキルにも魅力を感じました。また、Firebox導入後にはFireboxの集中管理をしているDimensionサーバを通じて設定内容の確認から変更まで、またDimensionレポートの見方や活用方法など勉強会を開催して頂き、導入後の運用に関しても大きな支援を受けています。（TKC 市川氏）

導入・運用管理サービスパートナー

日信ITフィールドサービスは日本信号のグループ会社で、ＩＴソリューションのエキスパートとして、ネットワーク、プラットフォーム、セキュリティをマルチベンダ環境でコンサルティングから設計・構築、運用・保守までトータルにサポートしています。
日本全国に40以上のサービス拠点をもち、地域に密着したソリューションを提供しています。

日信ITフィールドサービス

